

学校の教育目標		進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成																			
評価段階		4・・・よくできている(頻繁に行っている)					3・・・だいたいできている(かなり行っている)					2・・・あまりできていない(時々行っている)					1・・・できていない(ほとんど行っていない)				
		3. 6・・・90%					3. 2・・・80%					3. 1以下・・・79%以下									
重点目標	実践事項	具体的方策・手立て・内容	自己評価(平均)				R5 (全体)	分析・考察(○) 改善策(☆)	学校運営協議会の意見	学校運営協議会評価											
			児童	教師	保護者	平均					全体										
確かな学力の定着 【進んで学ぶ子】	日常授業の改善	1 ・文章や問題の読解力を鍛える授業の工夫	3.1	3.1	3.6	3.3	3.3	3.3	1 ○昨年度と比べて教師の評価が上がったのは、児童の読解力を鍛えようという意識が高まったからと言える。 1 ☆授業改善への意識が高まってきているので、引き続き校内研修の充実を図る。 2 ○「ひなたの学び」の目指すべき学びの姿を児童・家庭共に周知はできたが、浸透するには至っていない。 2 ☆目指すべき学びの姿(「ひなた」)を、教師・児童にもさらに分かりやすい形で提示していくことが必要。 3・4 ○学び合い、主体的対話的で深い学びに対する児童の意識が高まっている。しかし、教師の評価が低いのは、児童の変容がまだわずかしき見られないからである。 3・4 ☆ ファシリテーターとしてのあり方を追究していく必要がある。 6 ○保護者の評価が低い。家庭学習での困難さを感じている保護者がいることが考えられる。 6 ☆家庭と連携しながら、個に応じた課題にも取り組ませていく。 7 ○学校でも家庭でも読書習慣がついていない児童がいとと考えられる。 7 ☆読書の環境の確保(時間の設定、家読に取り組む)、「読書の日」の頻度を増やす。 8 ○教師の評価が低いのは、地域人材の活用の負担が大きいつと感じているからではないか。 8 ☆連絡調整がスムーズに行えるように、記録を残しておく。	○ ますます複雑多様な問題を抱えた児童が友愛園に入所するようになり、先生方も大変だと思います。 ○ 学力の定着に関しては、あまり意見はありませんが、家庭学習で差が生じていることは否めないと思います。保護者がお仕事の都合上、帰宅時間がまちまちで宅習を見てあげる余裕がないという悩みも聞かれます。	3.7										
		2 ・茶小版「ひなたの学び」を基盤とした授業の構築	3.2	2.9	3.4	3.2															
		3 ・個人思考を深めていくための学び合いの工夫	3.6	3.3	3.5	3.5															
		4 ・主体的・対話的で深い学びへの転換	3.6	2.9		3.3															
		5 ・ICTを活用した授業改善	3.7	3.2	3.4	3.4															
	基礎的・基本的学習内容の定着	6 ・基礎・基本内容の徹底指導	3.4	3.2	3.0	3.2															
		7 ・読書の推奨	3.1	2.8	2.4	2.8															
	特別支援教育の充実	8 ・支援が必要な児童への迅速な対応		3.4	3.7	3.6															
	一貫教育の推進と外部との連携	9 ・地域素材や地域人材の活用及び外部との連携		3.0	3.7	3.4															
心の教育の充実 【心豊かな子】	基本的生活習慣の定着	10 ・素早く静かな廊下歩行	3.5	2.1		2.8	3.2	3.2	10 ☆廊下歩行については、その都度根気強く指導していく必要がある。 11 ☆あいさつの指導は、根気強く職員全体で指導していきたい。 11 ○児童にとっては、挨拶は人ではなく、場所(登校後の校門、職員室、事務室、教室)でするものといった認識があるのか、決まった場所ですしかできていない。それ以外の場所では、ほとんどできていない。あいさつに限らず、返事や反応もいいとはいえない。全体的に受け身になっている実態がある。学校の雰囲気にも関わってくることで、徹底した指導が必要だと思う。 12 ☆清掃については、児童の意識は高いが、実際の様子を見ると義務的にやっている感じがしている。縦割りの清掃から学年ごとの清掃に変更したことで、清掃時間以外にも学級活動等で細かな指導をしていけるのではないか。 13 ○使った後の整理整頓の児童評価がかなり高いが、片付けるものを限定した質問であるために教師との意識に差があるのではないか。 13 ☆児童がよく利用する道具や場において具体的に直接指導をする時間を設けることで、児童の意識を高めていけるのではないか。 15 ○温かい言葉かけについては児童と教師で評価のずれが大きいため、教師側が温かい言葉かけを意識し、人を傷つけるような言動を見逃さず、指導し続けていくことが大切である。 16 ○保護者による定期的な立ち番指導だけでなく、自主的な毎日の見守りもあり、児童の登校の安全が確保され、ありがたい。 16 ☆定期的な立ち番指導だけでなく、随時、職員の見守りを行っていきたい。 17 ☆保護者も一緒に学習の場を設ける計画を立てたい。	○ 三つ子の魂百までのとおり、ネグレクトで入所すると、中学生になってもなかなか生活習慣が定着しない傾向にあります。ご迷惑をおかけします。 ○ 児童、先生方、保護者の評価がずれてしまうこの年齢ではよくあることです。最近はずっと自分の自己肯定感が高い傾向にありますので、それをうまく生かして大人は寄り添い自分たちで考えるという事も大切なのではと思います。 ○ 西都中学校が開校した時、小規模一大規模、子どもの人数が何百人となる中で、学力、体力ともに上位だった成績が思った以上に上がらなかったり、生活面でも友達とうまくいかなかったりする場面も多くなる。子どもはそれを想像する事もできないため、どう子ども達に伝えるか。	3.5										
		11	・先取りあいさつや場に応じた言葉遣い	3.5	2.1	3.3						3.1									
		11		3.5		2.9															
		12 ・清掃活動による学校磨きと心磨き	3.6	2.7		3.2															
		13 ・使った後の整理整頓	3.7	2.5	2.8	3.0															
	いじめのない学校づくり	14 ・全教師が全児童に「かかわる」 ・迅速な実態把握(心タイム)	3.8	3.9	3.7	3.8															
		15 ・温かい言葉遣いを意識した学校生活	3.7	2.7	3.7	3.4															
	規範意識・安全意識の向上	16 ・交通安全・登下校指導の徹底(集団登下校)	3.8	3.1	3.6	3.5															
		17 ・防災教育の充実	3.7	3.0	2.8	3.2															
	たくましい体の育成 【元気な子】	基礎体力の向上	18 ・運動時間を保障した体育科授業の充実	3.7	3.4	3.5	3.5	3.2				3.2	21 ○基本的生活習慣の定着では、児童と教師・保護者間でのギャップが大きい。規則正しい生活についての認識に差があるのではないか。また、できている家庭とそうでない家庭との差が大きいと感じる。 19 ☆今年度の体力テストの結果から、握力の弱い児童が多いことがわかったため、委員会活動を通して、ハンドグリップを活用した握力強化の時間を設けた。積極的な活用を推奨していく。 20 ○昼休みの過ごし方について、外で遊ぶ児童とそうでない児童とでは差が大きいと感じるが、高学年が下学年を引っ張って遊ぶ姿勢が見られるため、外遊びに参加しやすい雰囲気はできている。少年団等で運動をしている児童も多くいるため、運動習慣はある程度確立していると考ええる。 22 ○学級での歯科保健指導や学校保健委員会の活用を行ったことで、今年度は歯科受診率が高く、意識づけはかなりできたと考える。 22 ☆齲歯や歯周疾患を治療するという視点から、健康な歯を維持していくという視点での指導も行っていく必要がある。 23・24 ○食育や性教育について、前期での学習の機会が少なかったため、充実した指導が行えていないと感じる教師や保護者が多いのではないか。 23・24 ☆後期では、外部講師等を活用した食育や性に関する指導月間を設定している。そこで指導の充実を図れるとよい。	○ スマートフォンの普及により、性に関する情報がかなり子ども達を蝕んでいると思われます。性指導は徹底してほしい。 ○ 性に関する指導は、長く棚に上げられていたましたが、最近になってその重要性が高まってきました。保育園の方も保育指針にあり、幼児に合った絵本を活用してプライベートゾーンを知らない人に見せない、「イヤ!」「やめて!」と言えるよう伝えています。しかし難しい問題だと思います。	3.4						
19 ・体力テストの結果を受けた指導及び個別指導の充実				2.8		2.8															
20 ・生活の中でできる運動の推奨(ちょこっと運動等) ・昼休みの外遊びの奨励			3.6	2.9	3.1	3.2															
健康教育の充実		21	・基本的生活習慣の定着 (早寝・早起き、朝ごはん、手洗い・うがい等)	3.5	3.1	3.2	3.5														
		21		3.9																	
		21		3.6																	
		22 ・歯みがき指導・歯の衛生に関する啓発	3.8	3.0	3.2	3.3															
		23 ・食育指導の推進の充実	3.5	2.9	3.1	3.2															
24 ・性に関する指導の充実			2.7		2.7																
校内安全教育の充実		25 ・定期的な安全点検の徹底と確実な改善 ・校内安全指導の推進	3.8	3.4	3.2	3.5															
と家の庭連・携地域社会	家庭及び友愛園における家庭学習の見届け みどりの少年団による地域への貢献	26 ・家庭学習の習慣化と充実に向けた保護者への啓発	3.6	2.9	3.4	3.3	3.3	2.9	28 ○天心館の職員が、PTA役員に入ったことで、学校や保護者と天心館との連携がしやすくなった。 26 ☆家庭学習の見届けについては、児童、教師、保護者で考えている内容が共通していないかと考えられる、懇談会等を利用して、共通理解する場が必要である。 27 ☆みどりの少年団の活動は、全学年に広げ日常的な花壇等の栽培活動を中心に行ったが、日常的な児童の関わりを充実查てるための手立てを考えていきたい。 29 ○学級・学校便り、HPIについては、児童によって掲載の制限はあるが、できる範囲で積極的な発信ができています。	○ 友愛園における発達障がい児の割合も高くなり、職員も指導に限界を感じていることもあります。連携よろしく。 ○ みどりの少年団の校外活動が、本年度はあまりできていなかったと思います。 ○ 保育園でも近年課題になってきているのですが、保護者も支援が必要な家庭が増えてきつづあります。保護者を励まし、ポジティブに子どもと向きあえるような配慮も大切だと思います。	3.6										
	保護者(友愛社)や地域との連携及び地域の福祉施設(菜花園)、保育園との計画的な交流	27 ・花植えや清掃活動		2.9		2.9															
		28 ・保護者(友愛社)や地域・地域施設(菜花園、保育園等)との連携		3.4	3.5	3.5															
		29 ・学校、学級便り、HPの効果的な活用		3.5	3.7	3.6															
		【保護者自由記述欄】 ○ 少人数の特性が活かせてないと思う。 ○ これからも、変わらず伸び伸びと子ども達が成長する場であって欲しいです。 ○ いつもお世話になります。校長先生をはじめ先生方が温かく接して下さるよう子供も安心して通えます。いつもありがとうございます。 ○ 特認校制度を利用して通っています。子どもの個性を大切にしていいただけるのはもちろん、教育活動にも体験を通したものが多く、地域の皆さんとも丁寧に付き合いられている印象があります。娘も、学校というものに本当に楽しく通えるようになり、笑顔も増え、苦手だった勉強も丁寧に見て頂く中で、本当によく定着しています。不登校時期に苦手意識がついていた単元についても、子どもに寄り添っていただき、克服しようとする姿が家庭でも見られ心より感謝しております。										○ みどりの少年団活動についても、今後にむけて検討をしていく必要があるのではないかと思います。 ○ 学校の行事等、見学をさせていただけると嬉しいです。									